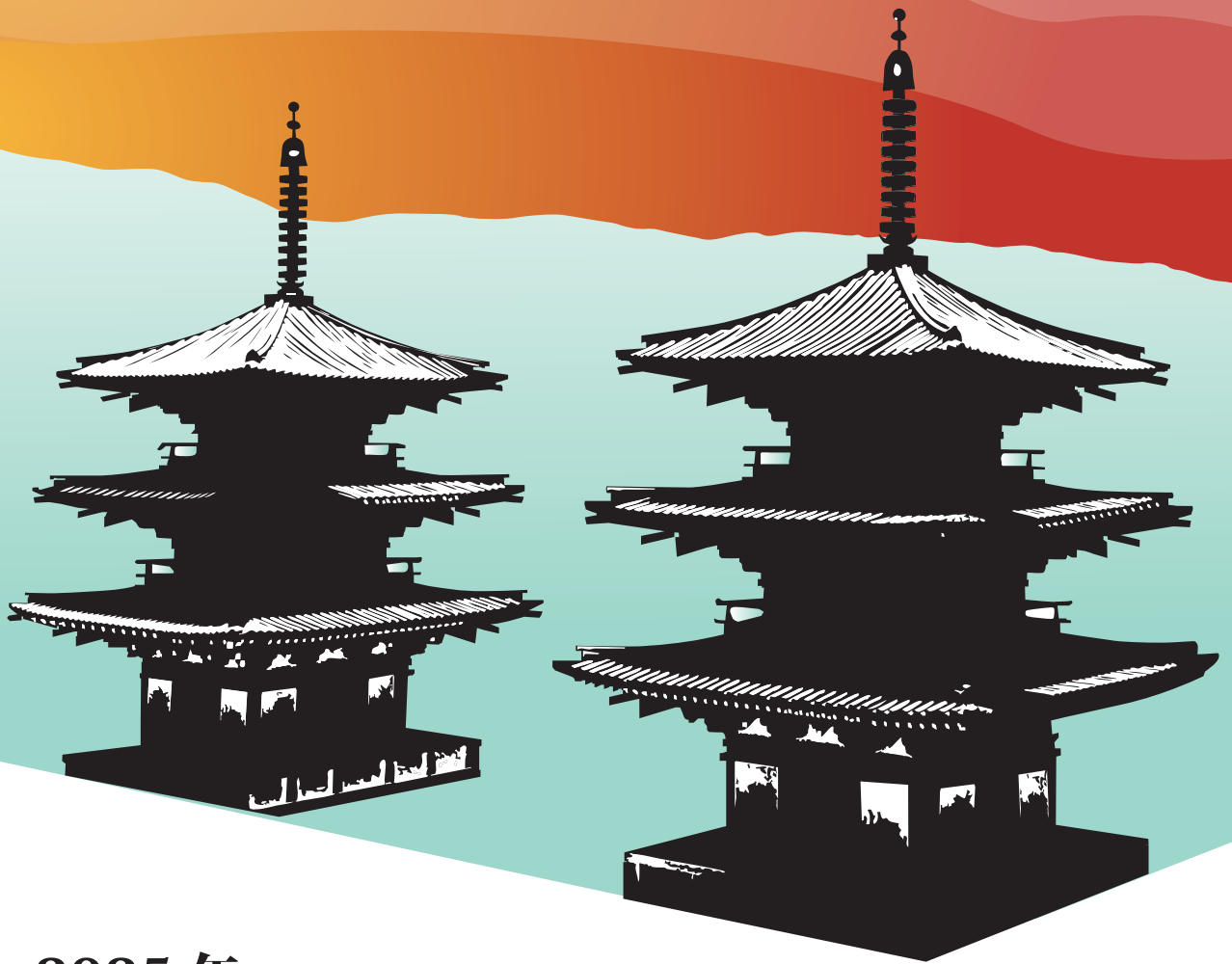


第26回特別展

葛城の古代

—飛鳥・奈良時代の風景—



2025 年

10/11 (土) ▶ 12/ 7 (日)

◆葛城市 地光寺東遺跡の東西塔（イメージ）

◎ 11月15日（土）・16日（日）は「関西文化の日」につき入館無料です。

休館日：毎週火曜日、第2・4水曜日

開館時間：午前9時～午後5時

（入館は午後4時30分まで）

入館料：一般 200円（160円）

高校・大学生 100円（80円）

小・中学生 50円（40円）

※（ ）内は20名以上の団体料金



葛城市歴史博物館

〒639-2123 奈良県葛城市忍海250番地1
TEL：0745（64）1414

葛城の古代 —飛鳥・奈良時代の風景—

今回の特別展では、葛城地域の飛鳥・奈良時代がテーマです。

これまでも、葛城の古代寺院をテーマにした特別展を開催していますが、今回は、古墳の時代から寺の時代への流れを、もう少し具体的に考えようと企画しました。

飛鳥時代では、推古朝の改革を考古学から見て、古墳の時代から寺の時代への変革、それとともに、地域の大規模再開発にも注目する必要があると考えました。

そのため、メインテーマは葛城地域ですが、推古朝の飛鳥地域にも目を向けています。蘇我馬子、飛鳥寺、石舞台古墳、そして飛鳥川の水利の話にもふれています。

その頃の葛城では、南郷地域に築かれた石舞台古墳のような古墳、御所市南郷ハカナベ古墳に注目して、蘇我氏が葛城に進出してきたと想定しました。その実態はどうだったのでしょうか。

今回のサブタイトルは、飛鳥・奈良時代の風景です。これまでも「葛城の古道を辿る」シリーズで、できるだけ現地を歩いて、風景を紹介してきました。

今回も、風景のなかに歴史を感じられるようにと、今の写真も紹介しています。人びととともに歩んできた地域の歴史を、そこに感じていただければと思います。

おもな展示資料

御所市 南郷遺跡群の飛鳥・奈良時代資料、ハカナベ古墳出土資料、鴨神遺跡出土資料、二光寺廃寺出土資料、葛城市 竹内遺跡出土資料、只塚廃寺出土資料、地光寺跡出土資料 など



【交通】近鉄御所線「忍海（おしみ）駅」下車すぐ

特別展記念講演会

◆ 10月18日（土）

「飛鳥時代の當麻

— 大津皇子墓・當麻氏・當麻寺 —」

講 師：千賀 久（当館 特任館長）

◆ 11月1日（土）

「金剛山麓地域の飛鳥・奈良時代」

講 師：神庭 滋（当館 館長）

◆ 11月15日（土）

「地光寺跡と脇田遺跡」

講 師：大西貴夫氏（奈良県 地域創造部 文化財課 課長補佐）

◆ 11月29日（土）

「古代葛城の豪族の系譜と

住居・墳墓・寺院」

講 師：廣岡孝信氏（奈良県立橿原考古学研究所 主任研究員）

◆ 12月6日（土）

「飛鳥時代の葛城、蘇我氏の足跡」

講 師：千賀 久

会 場：歴史博物館2階「あかねホール」

時 間：午後2時～午後4時

定 員：200名（事前申込が必要です）

入 場：無料

申込先：葛城市歴史博物館

電話：0745（64）1414

○メール、ホームページからも申込が可能です。



博物館ホームページへは、こちらから。



竹内遺跡 奈良時代の土器